

[花き部門 令和8年度 参考となる研究成果]

事 項 名	キク、トルコギキョウの補完品目としてのヒマワリの特性		
ね ら い	本県の花き主要品目であるキク及びトルコギキョウは生産コストが増加し、経営を圧迫している。そのため、主要品目を栽培しながらも作付・管理が可能で、収入が期待される補完品目としてヒマワリを選定し、その特性を明らかにしたので参考に供する。		
内 容	<p>1 生産特性</p> <p>(1) ビニールハウスで4月中旬～7月中旬に播種することで、6月中旬～9月中旬に、長さが80～160 cm、花蕾径が3～5 cm程度の切り花が採花できる(表1、図1、2)。</p> <p>(2) 露地で4月中旬～8月中旬に播種することで、6月下旬～10月中旬に、長さが80～140cm、花蕾径が4～6 cm程度の切り花が採花できる(表1、図3、4)。</p> <p>2 試算販売額</p> <p>(1) ビニールハウスにおける1 a当たりの可販花数は2,500～3,100本程度、販売額は17～23万円と試算される(表2)。</p> <p>(2) 露地における1 a当たりの可販花数は2,400～3,200本、販売額は16～23万円と試算される(表3)。</p> <p>3 キクとの労力競合</p> <p>7～10月採花のキクと、ヒマワリのビニールハウス及び露地における4月中旬播種、6月中下旬採花及び6月下旬播種、8月中下旬採花の作型で労力競合が少ない(図5)。</p> <p>4 トルコギキョウとの労力競合</p> <p>7～10月採花のトルコギキョウと、ヒマワリのビニールハウス及び露地における5月下旬～6月中旬播種、7月下旬～8月中旬採花の作型で労力競合が少ない(図6)。</p> <p>5 市場・生花店におけるヒマワリの動向</p> <p>(1) 県内及び東京都中央卸売市場において、取扱数量が安定し、平均単価が伸びており、安定した品目であると考えられる(表4)。</p> <p>(2) 県内生花店の聞き取りでは、6～9月に使用量が多い(表5)。</p>		
期待される効 果	<p>1 主要品目であるキク、トルコギキョウを補完し、所得の増加が期待される。</p> <p>2 作付品目の複数化により農業経営の安定性が強化される。</p>		
利 用 上 の 注 意 事 項	<p>1 実際の販売額は、気象条件、ヒマワリの作柄、市場流通量等の違いにより、変動する。</p> <p>2 ヒマワリの生産性は品種間差があるため、安定性の高い品種の選定が必要である。</p> <p>3 9月15日播種作型は、採花盛期に到達しないため、行わない。</p>		
問 合 せ 先 (電話番号)	農林総合研究所 花き・園芸部 (0172-52-4341)	対象地域 及び経営体	県内全域のキク、トルコギキョウ等の作付経営体
発表文献等	令和6年度 農林総合研究所試験成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表 1 採花盛期及び採花までの日数

(令和 6 年 青森農総研)

播種 (月日)	サンリッチオレンジ50				サンリッチレモン50				ビンセント2型オレンジ				ビンセント2型ボメロ			
	ハウス		露地		ハウス		露地		ハウス		露地		ハウス		露地	
	採花盛期 (月日)	播種～採花 (日)														
4/15	6/29	75	7/3	79	6/27	73	7/5	81	6/19	65	6/24	70	6/14	60	6/20	66
5/15	7/22	68	7/21	67	7/20	66	7/21	67	7/12	58	7/13	59	7/7	53	7/8	54
6/14	8/14	61	8/12	59	8/15	62	8/12	59	8/3	50	8/3	50	8/3	50	8/3	50
7/16	9/15	61	9/14	60	9/15	61	9/11	57	9/2	48	8/30	45	9/3	49	8/30	45
8/15	10/15	61	10/8	54	10/11	57	10/8	54	10/7	53	10/6	52	10/4	50	10/3	49

(注) 9/15播種は採花盛期に到らなかった。

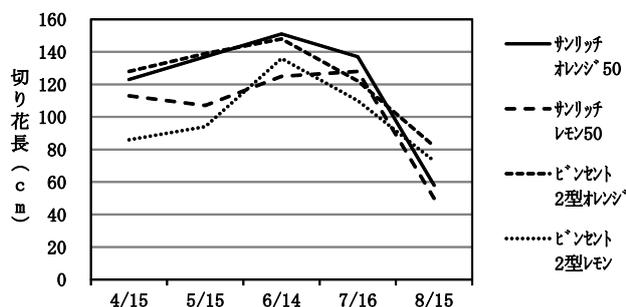


図 1 ハウスにおける切り花長  
(令和 6 年 青森農総研)

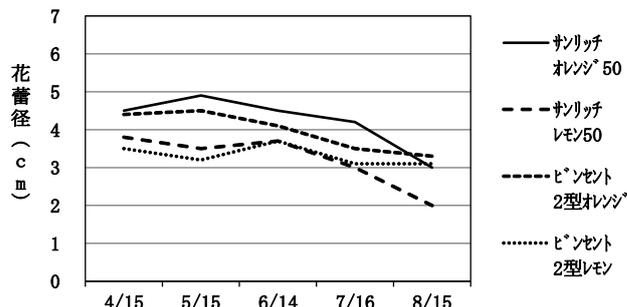


図 2 ハウスにおける花蕾径  
(令和 6 年 青森農総研)

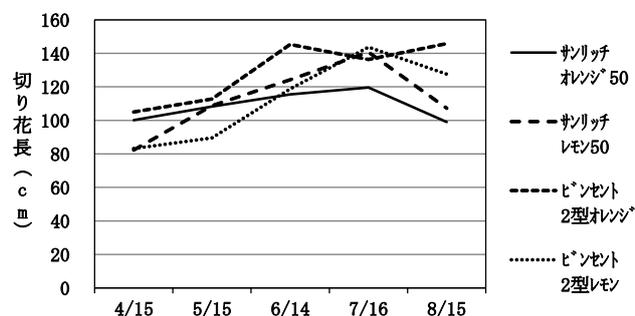


図 3 露地における切り花長  
(令和 6 年 青森農総研)

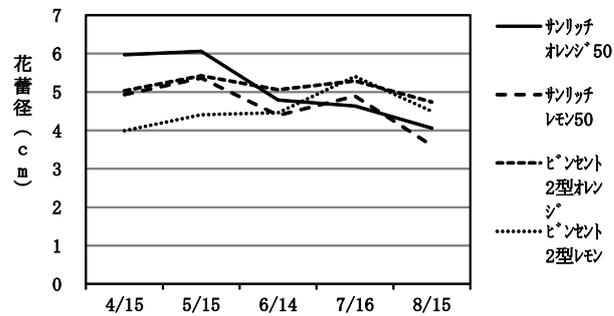


図 4 露地における花蕾径  
(令和 6 年 青森農総研)

表 2 ハウスにおける可販花数と試算販売額

(令和 6 年 青森農総研)

播種 (月日)	可販花割合 <sup>注1</sup> (%)					1a当たり 可販花数 <sup>注2</sup> (本)	1a当たり販売額 <sup>注3</sup> (円)	
	サンリッチ オレンジ50	サンリッチ レモン50	ビンセント 2型オレンジ	ビンセント 2型ボメロ	平均		県内市場	東京市場
4/15	81	98	79	98	89	2,937	217,300	199,700
5/15	47	96	69	94	77	2,541	188,000	172,700
6/14	83	100	100	100	96	3,168	234,400	215,400
7/16	81	90	95	89	89	2,937	217,300	199,700

(注) 1 可販花は、草丈が60cm以上、花蕾径2cm以上5cm以下で茎の曲り、折れのないもの。

2 1a当たり可販花数は、1a当たり定植本数(3,300本)×可販花割合で算出した。

3 1a当たり販売額は、1a当たり可販花数×市場単価(令和3～5年の平均 県内74円、東京68円)で算出した。

表3 露地における可販花数と試算販売額

(令和6年 青森農総研)

播種 (月日)	可販花割合 <sup>注1</sup> (%)					1a当たり 可販花数 <sup>注2</sup> (本)	1a当たり販売額 <sup>注3</sup> (円)	
	サンリッチ オレンジ50	サンリッチ レモン50	ビンセント 2型オレンジ	ビンセント 2型ホムメロ	平均		県内市場	東京市場
4/15	53	90	98	100	85	2,805	207,500	190,700
5/15	44	76	75	98	73	2,409	178,200	163,800
6/14	88	97	83	87	89	2,937	217,300	199,700
7/16	96	96	65	70	82	2,706	200,200	184,000
8/15	100	98	98	93	97	3,201	236,800	217,600

(注) 1、3 表2と同じ

2 1a当たり可販花数は、1a当たり定植本数(2,970本)×可販花割合で算出した。

品目	作型	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
キク作型 (7a)	7~8月採花		▼▼●	—	—	—	■	■		
	9月採花			▼▼●	—	—	—	■	■	
	10月採花				▼▼●	—	—	—	■	■
	余剰労力	59 60 53 45 45 36 52 44 41 27 33 24 8 48 6 -6 29 41 17 0 40 52 21 17 47 52 60								
キクを7a作付け した場合に可能と 想定されるヒマワリ (3a)の作型 (ハウス・露地)	4月中旬播種		▲	—	—	■	■			
	6月下旬播種				▲	—	—	■	■	

(注) 1 ▼: さし芽、▲: 播種、●: 定植、■: 採花、網掛け部分はキクの作業がひっ迫する旬

2 余剰労力は農業従事者1人とし8時間/日、8日/旬の労働時間として算出した。

図5 キクとの労力競合を避けたヒマワリの作型

(令和6年 青森農林総研)

品目	作型	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
トルコギキョウ 作型(7a)	7~9月採花		●●●	—	—	—	■	■	■	■
	8~10月採花			●●●	—	—	—	■	■	■
	余剰労力	31 36 29 15 10 13 18 18 25 44 51 45 48 50 37 26 25 16 20 32 47 49 60 60 60 60								
トルコギキョウを7a 作付けした場合に 可能と想定されるヒ マワリ(3a)の作 型 (ハウス・露地)	5月下旬播種			▲	—	—	■	■		
	6月中旬播種				▲	—	—	■	■	
	8月上旬播種						▲	—	■	■
	8月中旬播種							▲	—	■

(注) 1 ▲: 播種、●: 定植、■: 採花

2 余剰労力は農業従事者1人とし8時間/日、8日/旬の労働時間として算出した。

図6 トルコギキョウとの労力競合を避けたヒマワリの作型

(令和6年 青森農林総研)

表4 県内市場及び東京市場における取扱の推移

市場	項目	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
県内市場	取扱数量(千本、%)	73 (100)	63 (86)	68 (93)	68 (93)	75 (102)
	平均単価(円)	57 (100)	68 (119)	71 (125)	75 (132)	74 (130)
東京都中央 卸売市場	取扱数量(千本、%)	9,508 (100)	8,737 (92)	9,958 (105)	10,144 (107)	10,628 (112)
	平均単価(円)	55 (100)	61 (111)	63 (115)	72 (131)	69 (125)

(注) ( )内は令和元年に対する各年の取扱数量及び平均単価の比率

表5 生花店のコメント

(令和6年 青森農林総研)

県内生花店	ヒマワリについてのコメント
A	5月上旬から9月いっぱいの需要がある。お祝い用、スタンド、壺、お墓用に使われる。
B	夏場の6～9月に大量に使っている。お祝いや花束にも使う。

耕種概要

項目	内容
1 供試品種	サリッチオレンジ50、サリッチレモン50、ビンセント2型オレンジ、ビンセント2型ホメロ
2 播種月日及び方法	令和6年4月15日、5月15日、6月14日、7月16日、8月15日、9月15日 1穴に2粒播き、発芽揃い後、1穴1本に整理
3 栽植様式	ビニールハウス：ベット幅80cm、通路70cm、条間12cm、株間12cm、6条植え (3,300本植/a) 露地：ベット幅70cm、通路70cm、条間12cm、株間12cm、5条植え (2,970本植/a)
4 施肥量	なし、前作ヒマワリ (各成分0.1kg/a施用)
5 マルチ	4～6月播種：黒マルチ、7～9月播種：白黒ダブルマルチ